

「二人なら」 <先週の講壇より>

「一人なら打ち負かされても、二人なら立ち向かえる。」伝道の書4:12【新改訳2017】

先週Oさんの訪問に行きました際に、義父さんの記念誌をいただきました。それを読んでいたら、その義父さんが野口英世と交流があったということが記されており、とても驚きました。Oさんの義父さんは岩手出身、その同じ東北出身の米国在留者というつながりにより、野口英世とはかなり親しい交わりがあったとのことでした。

私も子供の時に伝記で読んだ野口英世。黄熱病の研究に打ち込み、南米にわたり病原体を発見するという偉業、そして次はアフリカで黄熱病が流行るとアフリカにわたり、そこで自身が黄熱病で召されるという、その偉大なる足跡は日本人なら誰でも知っているでしょう。しかしながら、その原動力が彼の信仰にあったということは、あまり知られていないように思います。彼は18歳の時に英語の勉強のために訪れた教会でイエス様を知り、信仰に導かれ、洗礼を受け、主と共に歩むことによって偉大なる足跡を残したのです。とても一人では立ち向かうことの出来ない戦いを、イエス様と共に戦い抜き、永遠へと旅立って行きました。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025年10月5日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは世の光です。」

マタイ5:14

☆集会案内☆

日曜礼拝：09:30-10:30

聖書クラス：10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

